

平成 29 年度

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

事業報告書

公益財団法人 木村看護教育振興財団

平成 29 年度 事業報告書

1 海外看護研修助成－長期海外研修－（公募事業）

看護師・助産師・保健師の資格を有する者であって一定の英語力を有する者を対象として、3週間の研修に要する研修費、滞在費、往復航空運賃等を全額助成する。平成 29 年度は以下のとおり実施した。

① 研修先

アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター メイヨークリニック

② 研修者数

次の 6 名を派遣した。

有馬由美子（国立病院機構箱根病院）、小峰幸子（千葉県済生会習志野病院）、佐藤千景（東京医科歯科大学医学部附属病院）、清水将統（北里大学病院）、津村明美（静岡県立静岡がんセンター）、三村洋子（日本赤十字社医療センター）

③ 研修期間

平成 29 年 9 月 16 日(土)から 10 月 8 日(日)までの 3 週間
(別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照)

2 看護研究助成（公募事業）

医療機関等で実際に看護等の業務に携わっている看護師・助産師・保健師の資格を有する者又はその者を含む研究グループを対象として、1 件当たり 100 万円を限度として助成する。

平成 29 年度は、次の者が代表研究者である 7 件の研究に対し助成した。

赤羽治美（代表研究者 信州大学医学部附属病院）、田中和子（代表研究者 山口県立大学）、椿美智博（代表研究者 北里大学病院）、鶴巻香奈子（代表研究者 東京保健医療大学）、西村路子（代表研究者 滋賀医科大学医学部附属病院）、山崎優介（代表研究者 広島市立安佐市民病院）、柳朝子（国立がんセンター中央病院）

(別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照)

3 専門看護師奨学金助成（公募事業）

看護系大学大学院専門看護師教育課程 2 年次進級予定者に対して、1 件当たり年額 60 万円の助成を行う。

平成 29 年度は次の 9 名に対して助成を行った。

安藤智洋（日本赤十字広島看護大学大学院）、鶴山美樹（大阪府立大学大学院）、落合恵（京都橘大学大学院）、坂井みさき（京都府立医科大学大学院）、千葉育子（筑波大学大学院）、中島寛子（大阪府立大学大学院）、林みずほ（大阪大学大学院）、原田和沙（杏林大学大学院）、山本茉莉（聖路加国際大学大学院）

（別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照）

4 看護に関する講演会の開催

(1) 東京における開催

次の通り、第 74 回看護に関する講演会として開催した。

- ① 日 時 平成 29 年 11 月 11 日（土）13 時 30 分～17 時 30 分
- ② 会 場 東京都千代田区霞が関 新霞が関ビル灘尾ホール
- ③ 演 題 「未来を拓く 看護の力 – 地域の人々の暮らしを支える医療
看護介護の取組みを注目事例から学ぶ」

④ 内 容

ア 基調講演 1 喜多悦子 公益財団法人笹川記念保健協力財団会長
「在宅看護起業ナースの育成と支援」

イ 基調講演 2 マレン・ジョンソン メイヨークリニック ナースマネジャー
「Mayo Clinic Health System」

ウ パネルディスカッション

「地域医療看護の展開 – 在宅クリニック・訪問看護ステーション・看護
小規模多機能の連携例、大学病院・地域医療機関間交流・支援の例」
ファシリテーター

三輪恭子 よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 取締役・地域
看護専門看護師

パネリスト

遠矢純一郎 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック院長
片山智栄 同 ナースケアステーション所長 同ナースケアリビグ世
田谷中町所長

井川順子 京都大学医学部附属病院 病院長補佐兼看護部長 看護
職キャリアパス支援センター長
幸野里寿 同病院 看護職キャリアパス支援センター 助教
山田美恵子 同病院 看護師長
鬼塚徳子 同病院 副看護師長
村上洋子 綾部市立病院 副看護部長
高橋嘉宏 同病院 看護師
メリッサ・ビッツ メイヨークリニック CNS

⑤ 参加者 421名

(2) 山形県における開催

山形県看護協会との共催により、次の通り第73回看護に関する講演会を開催した。

- ① 日時 平成29年9月9日(土) 13時30分～16時
- ② 会場 山形県看護協会 看護研修センター
- ③ 講師 島田恵氏 首都大学東京大学院准教授(外来看護専攻)
- ④ 演題 外来看護ー地域包括ケア時代の外来看護をプロデュースー
- ⑤ 参加者 150名

5 国内外の看護関係者の集いの開催

平成29年11月11日(土)夜、霞が関において、第74回講演会の開催に引き続き、看護関係者の集いを開催した。

パーティでは、木村代表理事の挨拶に続き、日本赤十字社副社長、厚生労働省医政局看護課長、日本看護協会会長(代理)、日本訪問看護財団理事長、全国訪問看護事業協会会長(代理)、メイヨークリニックのマレン・ジョンソン氏の挨拶が寄せられ、関係機関・団体やこれまでの当財団助成対象者も多数来場され200名を数える盛会となった。

会場は、関係機関の方々、メイヨークリニックの方々、メイヨークリニック等でかつて研修した助成対象者等が活発に交流し、我が国と米国の医療・看護に関する情報交換もなされるなど有意義な集いの場となった。

6 新たな研修助成の創設に向けた調査

(1) 高度な看護スキルに係る研修助成の調査

- 本調査は、高度な看護スキルについて専門的な研修が実施されている場合において、その研修を希望する看護職者に対する助成が当財団の目的・理念に合うか、財務条件等に合致するかについて検討し、適切と認められる場合に新たな事業とすることを目的として実施している。
- 財団事務局は、平成 25 年度から 29 年度までの間に 9 領域 21 名の専門看護師等から意見を聞くなど、ニーズや研修の存在等について検討してきている。
- 30 年 3 月末の検討状況は以下のとおりである。

まず、専門看護師を対象に行ったヒアリングの結果、多くの方は専門性に相応しいテーマを持って独自の調査・研究を行っている一方、不特定多数の他者ととも受講者として学ぶ一般的な研修へのニーズは認められなかった。

並行して、特定の領域等についてヒアリングを行ってきており、以下のようなニーズを認めている。

 - ① 末期がんなど死に直面した患者とその家族に対するケアのために既に一定レベルの知識・経験・スキルを有する看護師を対象として平成 26 年度から行われている専門的看護ケアプログラムによる研修への資金面の支援
 - ② チーム医療を高度に実践していく参考とするため、海外医療機関における医師・看護師・その他スタッフが行う意思決定や連携状況、情報共有について現場で学びたいとのニーズ
- 上記①は緩和ケア推進を目的として専門的な研修を行っている公益法人の取組みであり、研修のツールである専門的緩和ケア看護師教育プログラム（略称 SPACE-N）は非公表であるが、27 年 11 月、当財団に特別に開示された。現在、当財団は、SPACE-N 修了者が所期の研修効果を臨床の現場で示しているか等について、検証結果と客観データの提供を求めている。なお、同法人は平成 28 年度から同研修の有効性等について検証を進めている。
- ②については、メイヨークリニックで 2 回目の研修を希望する方がどの位いるのか等の把握に努めているところであり、その結果を踏まえて対応する。

(2) 訪問看護に必要な看護スキルに係る研修助成の調査

- 本調査は、在宅医療・訪問看護に関する看護スキルに対するニーズに応える専門的な研修が実施されており、その研修を希望する看護職者に対する助成が当財団の目的・理念に合うか等について検討し、適切と認められる場合に新たな事業とすることを目的として実施している。
- 本調査は、これまで在宅医療・訪問看護の実態や課題、支援策について説明を受け意見交換等を行い、ニーズの存在や既存の研修等を把握してきている。

これまでの主な訪問先として、厚生労働省、東京都、日本看護協会、首都圏所在看護協会、日本訪問看護財団等において全国的な実態と支援策を聞くとともに、東京大学大学院、京都大学大学院及び同医学部附属病院、国立長寿医療研究センター、千葉大学大学院、聖路加国際大学及び同病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、藤田保健衛生大学及び同病院地域包括ケア中核センター、産業医科大学、淀川キリスト教病院、尾道市民病院、山形県鶴岡地区医師会、東京都板橋区医師会、22の訪問看護ステーション等において、在宅医療に関する取組みの実態と課題を聞いている。

また、笹川記念保健協力財団から、平成26年度から同財団が行っている訪問看護ステーションの起業をめざす看護師研修のヒアリングを行っている。

これらを通じて、以下のことを把握した。

- ① 平成29年4月現在、全国で訪問看護ステーションは9,000を超えるが、殆どは小規模であり経済的余裕がないため職員を研修に出せない。このため、一部の自治体では、代替看護師雇上げ費用の助成制度を設けて訪問看護師の研修の機会を確保する事業を行っているが、その助成制度の利用率が低い。
- ② 研修ニーズは体験型から単独で訪問看護ができることを目指すものまで多様であるが、幅広い研修ニーズに対応できる研修実施主体は訪問看護師10名を超える体制を備え経営に余裕がある事業体である。
- ③ 在宅医療・訪問看護の推進という観点から、訪問看護サービスの支援とともに、急性期病院における円滑な在宅療養移行支援も重要である。

- 平成30年3月末現在、国や自治体による研修制度は相当数に上る。その中で当財団が助成する条件を備えている研修プログラムや研修例は見当たらず

ない。当財団は、直近5年、看護研究助成、専門看護師奨学金助成、講演会等の事業実施において、在宅医療・訪問看護の推進という観点を強く意識しながら取り組んできており、今後も更にそのような取組みを強めていく。

7 刊行物の発行等

① 海外看護研修レポート 2016

関係機関・施設の参考に供するため、1,000部を刊行し、全国の看護系大学及び350床以上の病院並びに関係省庁や全国職能団体等に提供した。

② 看護研究集録 24

看護研究集録についても、890部を刊行し、全国の看護系大学及び主要な病院に配布した。

③ 「平成28年度 東京講演会の記録」

当財団創設22周年記念講演会(平成25年)以降毎年11月に開催している東京講演会は好評である。

このため、28年度の講演会についても、その内容を全国の看護系大学・病院等に情報提供するため、登壇者やメイヨークリニックの協力を得て、講演、プレゼンテーション等を収録した「東京講演会の記録」を刊行した。発行部数は1440部であり、全看護系大学と350床以上の病院、看護関係者等に配布した。

平成29年11月に開催した東京講演会についても「講演会の記録」の作成を進めており、本年6月に刊行する予定である。

8 助成金贈呈式等

(1) 平成29年度助成金贈呈式

平成29年6月16日(金)、東京千代田区の霞が関コモンゲート西館の霞山会館にて、看護研究助成及び専門看護師奨学金助成の対象者に対して、理事、評議員等が出席し開催した。

(2) 海外看護研修認定式・オリエンテーション及び研修報告会

① 認定式・研修オリエンテーション

平成29年6月30日(金)、東京千代田区の霞が関コモンゲート西館の霞山会館にて、平成29年度研修生に対して認定式を行うとともに、

オリエンテーションを実施した。

② 海外看護研修報告会

平成 29 年 12 月 26 日（火）、東京千代田区の霞が関ビルの東海大学
校友会館にて、理事、評議員等並びにメイヨークリニック研修経験者
等の一般の方も出席して開催した。

(3) 米国看護師と我が国看護師との交流に関する支援

平成 29 年 10 月 31 日（火）から 11 月 13 日（月）まで我が国に滞在した
メイヨークリニックの上級看護師 4 名と我が国の看護系大学やナショナルセ
ンター、病院等が交流するに当たり、当財団は、事前に交流に関する日程調
整等を行うとともに、自らも米国看護師との意見交換や視察の支援等を行っ
た。

(4) 平成 30 年度の助成事業に対する公募及び応募者への対応

- ① 当財団の 3 助成事業の公募に関する周知を深めるため、平成 29 年
10 月 11 日（水）から平成 30 年 1 月 25 日（木）までを期間として公
募を行った。
- ② 3 助成事業の公募のお知らせは、財団ホームページに掲示するととも
に、看護専門誌 10 誌にも公募のお知らせの掲載を行った。
- ③ また、平成 29 年 11 月下旬に全国の主要病院に 610 件、看護系大学
に 106 件など、合計 800 件に募集要項を送付した。

以上

平成 29 年 度

事業報告に関する附属明細書

- 1 海外看護研修助成対象者名簿
- 2 看護研究助成対象者名簿
- 3 専門看護師奨学金助成対象者名簿

1 平成29年度 海外看護研修助成対象者名簿

メイヨークリニック 6名

敬称略 五十音順

氏 名	勤 務 先	職 名
ありま ゆみこ 有馬由美子	国立病院機構 箱根病院	看護師 (看護師)
こみね ゆきこ 小峰 幸子	千葉県済生会習志野病院	師長 (看護師)
さとう ちかげ 佐藤 千景	東京医科歯科大学医学部附属病院	手術看護師 (看護師・保健師)
しみず まさのり 清水 將統	北里大学病院	看護主任 (看護師・保健師)
つむら あけみ 津村 明美	静岡県立静岡がんセンター	がん看護専門看護師 (看護師・保健師)
みむら ようこ 三村 洋子	日本赤十字社医療センター	看護師 (看護師・保健師)

2 平成29年度 看護研究助成対象者名簿

敬称略 五十音順
単位:千円

7件 4,600千円

代表研究者 氏名	勤務先	職名	研究題目	助成額	申込額
あかほり 赤羽 治美	信州大学医学部附属病院	看護師長	看護マイスター(教育担当経験者)の能力指標の開発	520	800
ななか 田中 和子	山口県立大学	講師	日本の助産師が専門職として大切にしている妊産婦中心のケア -助産師の取組みの実際とバースプランの生かし方-	800	1,000
つばき 椿 美智博	北里大学病院	看護師	救急看護師のターミナルケアに対する態度の実態	450	1,000
つばき 鶴巻 香奈子	東京医療保健大学	助教	手術を受ける子どもと家族へのケアモデルの構築	760	1,000
にしむら 西村 路子	滋賀医科大学医学部附属病院	副病院院長兼看護部長	大学病院の看護師に倫理的実践が求められる臨床場面に関する実態調査	800	1,000
やまざき 山崎 優介	広島市立安佐市民病院	病棟看護師	血糖コントロール不良の糖尿病合併心不全患者の療養行動に伴う体験	440	850
やなぎ 柳 朝子	国立がん研究センター中央病院	看護師	マルチキナーゼ阻害薬の手足症候群に対するハイドロコロイドドレッシング使用による予防効果の検討	830	1,000
合計				4,600	6,650

(注)「日本の助産師が専門職として大切にしている妊産婦中心のケア(副題略)」は、代表研究者を含め3名で行うこととされており、その中に臨床に携わる看護師が2名いる。
また、「手術を受ける子どもと家族へのケアモデルの構築」も、代表研究者を含め2名で行うこととされており、その中に臨床に携わる看護師が1名いる。

3 平成29年度 専門看護師奨学金助成対象者名簿

9名

敬称略 五十音順

氏 名	大 学 院 名	専 門 分 野
あんどう ともひろ 安藤 智洋	日本赤十字広島看護大学大学院	がん看護
うやま みき 鵜山 美樹	大阪府立大学大学院	慢性疾患看護
おちあい めぐみ 落合 恵	京都橘大学大学院	老人看護
さかい みさき 坂井 みさき	京都府立医科大学大学院	がん看護
ちば いくこ 千葉 育子	筑波大学大学院	がん看護
なかしま ひろこ 中島 寛子	大阪府立大学大学院	在宅看護
はやし みずほ 林 みずほ	大阪大学大学院	がん看護
はらだ かずさ 原田 和沙	杏林大学大学院	がん看護
やまもと まり 山本 茉莉	聖路加国際大学大学院	急性・重症患者看護

2 平成29年度 看護研究助成対象者名簿

敬称略 五十音順
単位:千円

7件 4,600千円

代表研究者 氏名	勤務先	職名	研究題目	助成額	申込額
あかばね 赤羽 治美	信州大学医学部附属病院	看護師長	看護マイスター(教育担当経験者)の能力指標の開発	520	800
ななか 田中 和子	山口県立大学	講師	日本の助産師が専門職として大切にしている妊産婦中心のケア -助産師の取組みの実際とベースプランの生かし方-	800	1,000
つばき 椿 美智博	北里大学病院	看護師	救急看護師のターミナルケアに対する態度の実態	450	1,000
つばき 鶴巻 蒼奈子	東京医療保健大学	助教	手術を受ける子どもと家族へのケアモデルの構築	760	1,000
さいの 西村 路子	滋賀医科大学医学部附属病院	副病院院長兼看護部長	大学病院の看護師に倫理的実践が求められる臨床場面に関する実態調査	800	1,000
やまがし 山崎 優介	広島市立安佐市民病院	病棟看護師	血糖コントロール不良の糖尿病合併心不全患者の療養行動に伴う体験	440	850
やなぎ 柳 朝子	国立がん研究センター中央病院	看護師	マルチキナーゼ阻害薬の手足症候群に対するハイドロコロイドドレッシング使用による予防効果の検討	830	1,000
合計				4,600	6,650